平成31年３月期　第２四半期
決算の概要

平成30年11月15日
㈱今仙電機製作所
東証１・名証1
証券コード 7266

www.imasen.co.jp

本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

Ⅰ.第２四半期の状況（前年同期比較）

本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

２Q連結決算ハイライト

IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.

百万円	前年同期実績（H29年9月期）	当期実績（H30年9月期）	増減額	増減率
売上高	56,401	59,744	3,343	5.9%
営業利益	1,121	1,701	580	51.7%
経常利益	1,076	1,701	625	58.1%
当期純利益	765	1,122	357	46.6%
１株当たり純利益	37.22円	53.96円	16.74	45.0%

POINT

中国、タイでの生産増加により、増収増益となりました

ご参考

USD	30/9期	108.67円	29/9期	112.34円	3.67円の円高
CNY	30/9期	17.08円	29/9期	16.39円	0.69円の円安
THB	30/9期	3.43円	29/9期	3.24円	0.19円の円安

本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

２Q連結決算ハイライト

百万円	前期実績 （H30年3月期）	当期実績 （H30年9月期）	増減額	増減率
総資産	86,107	84,669	▲1,438	▲1.7%
純資産	50,817	50,046	▲771	▲1.5%
自己資本比率	58.6%	58.8%	-	-
1株当たり純資産	2,427.55円	2,392.41円	▲35.14円	▲1.4%

POINT

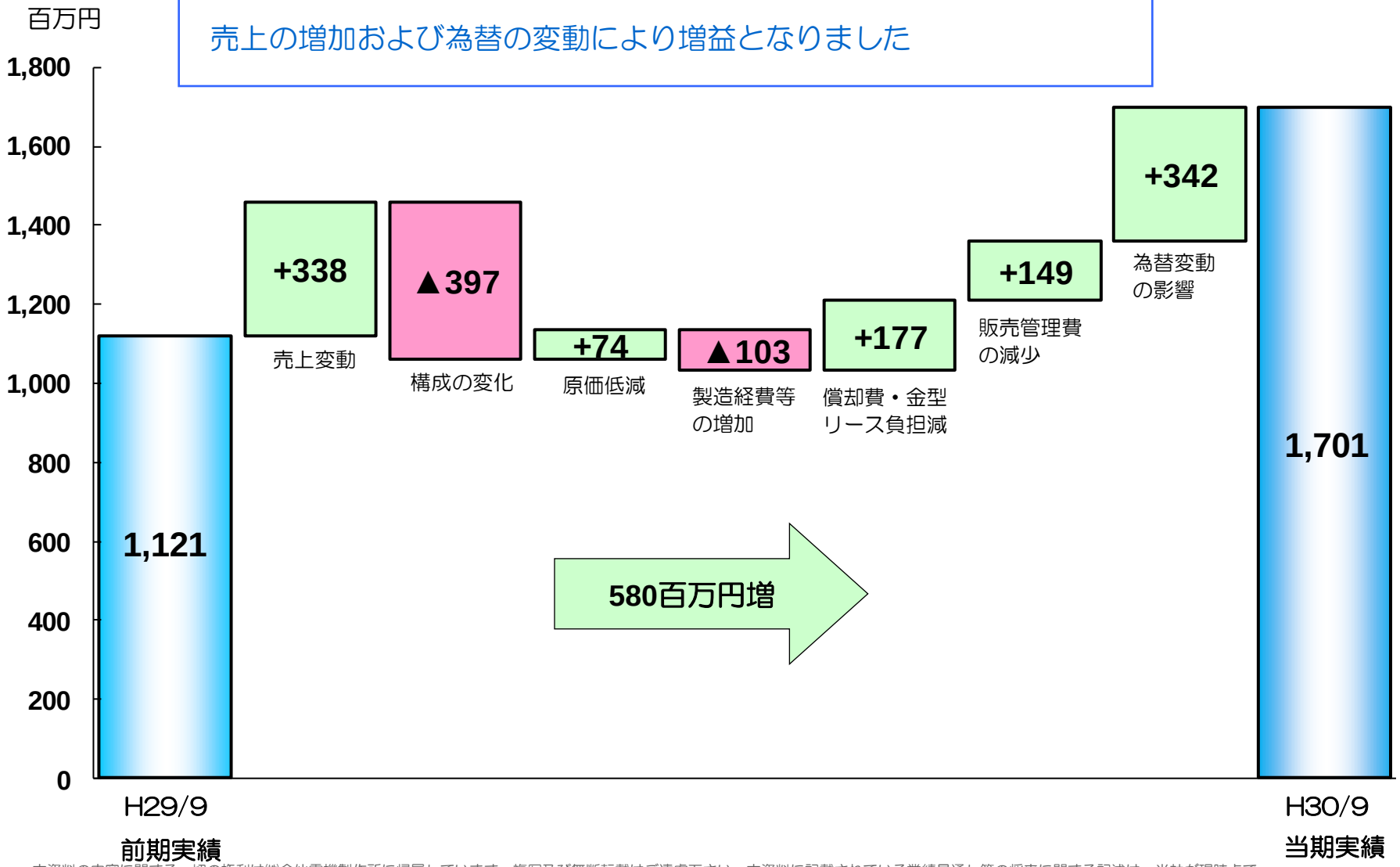
総資産は売掛債権や固定資産の減少により減少しております

本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

２Q実績　前年同期比変動要因：営業利益

POINT

売上の増加および為替の変動により増益となりました

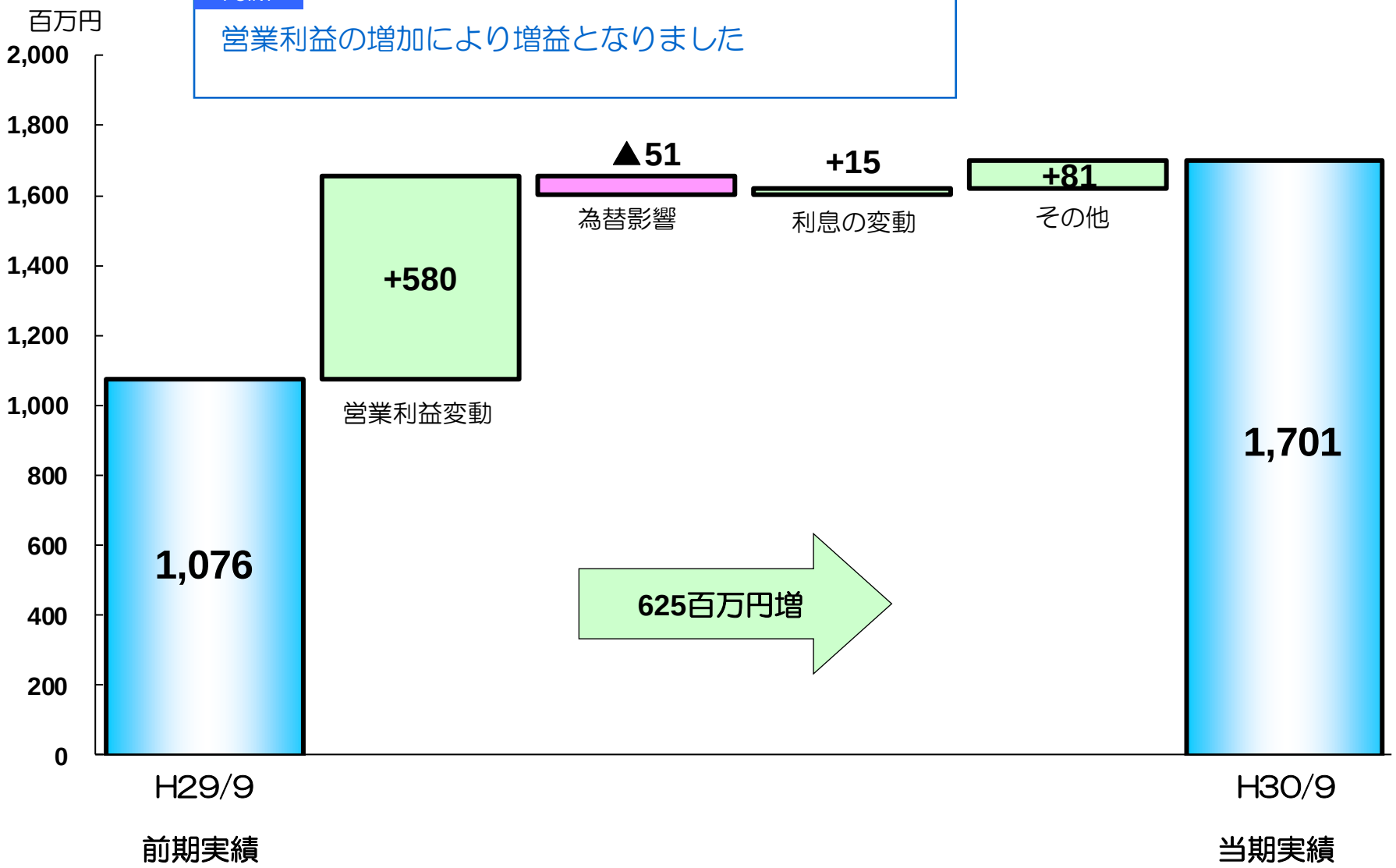


本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

2Q実績　前年同期比変動要因：経常利益

POINT

営業利益の増加により増益となりました

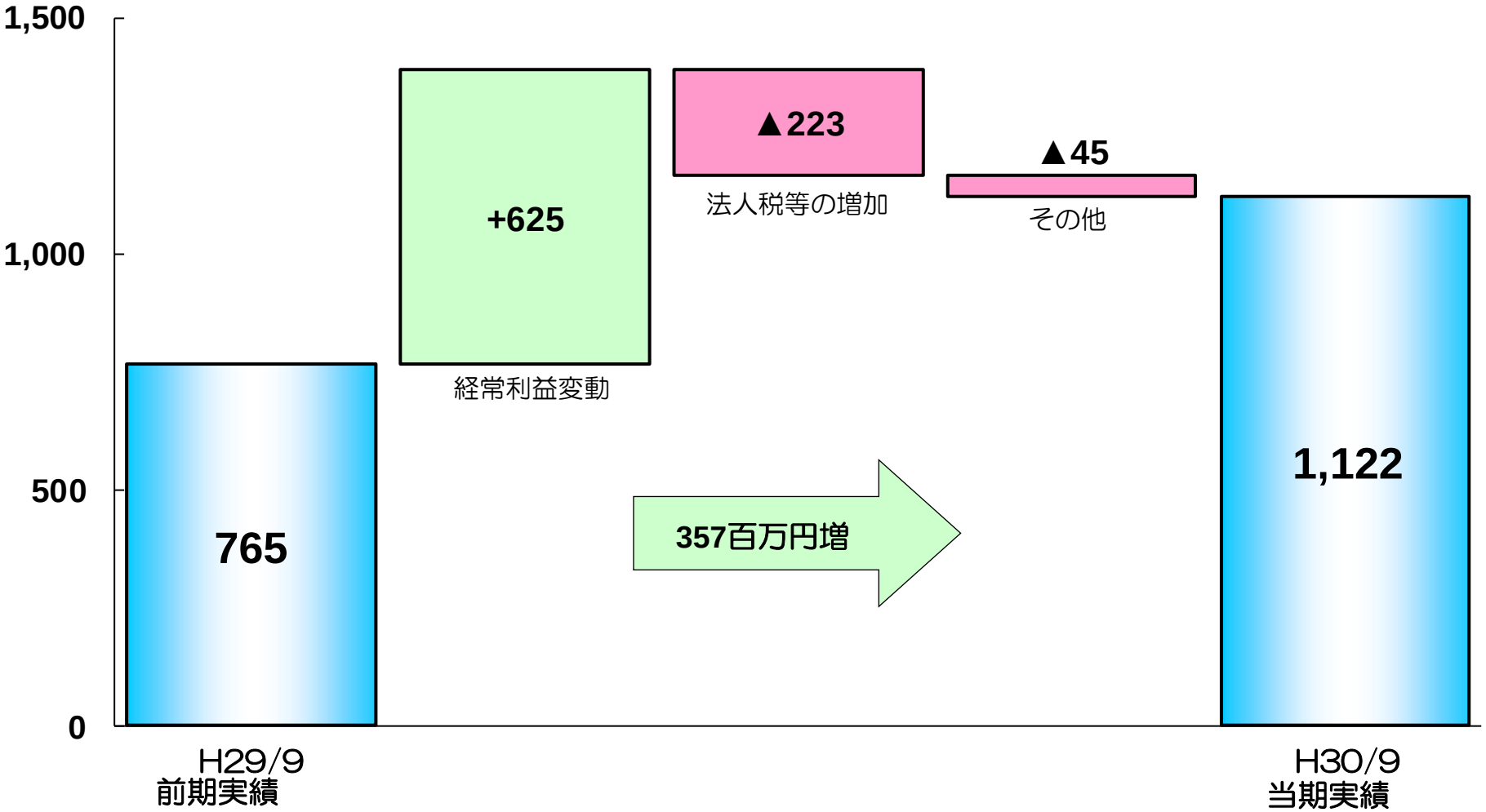


本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

2Q実績　前年同期比変動要因：当期純利益

POINT

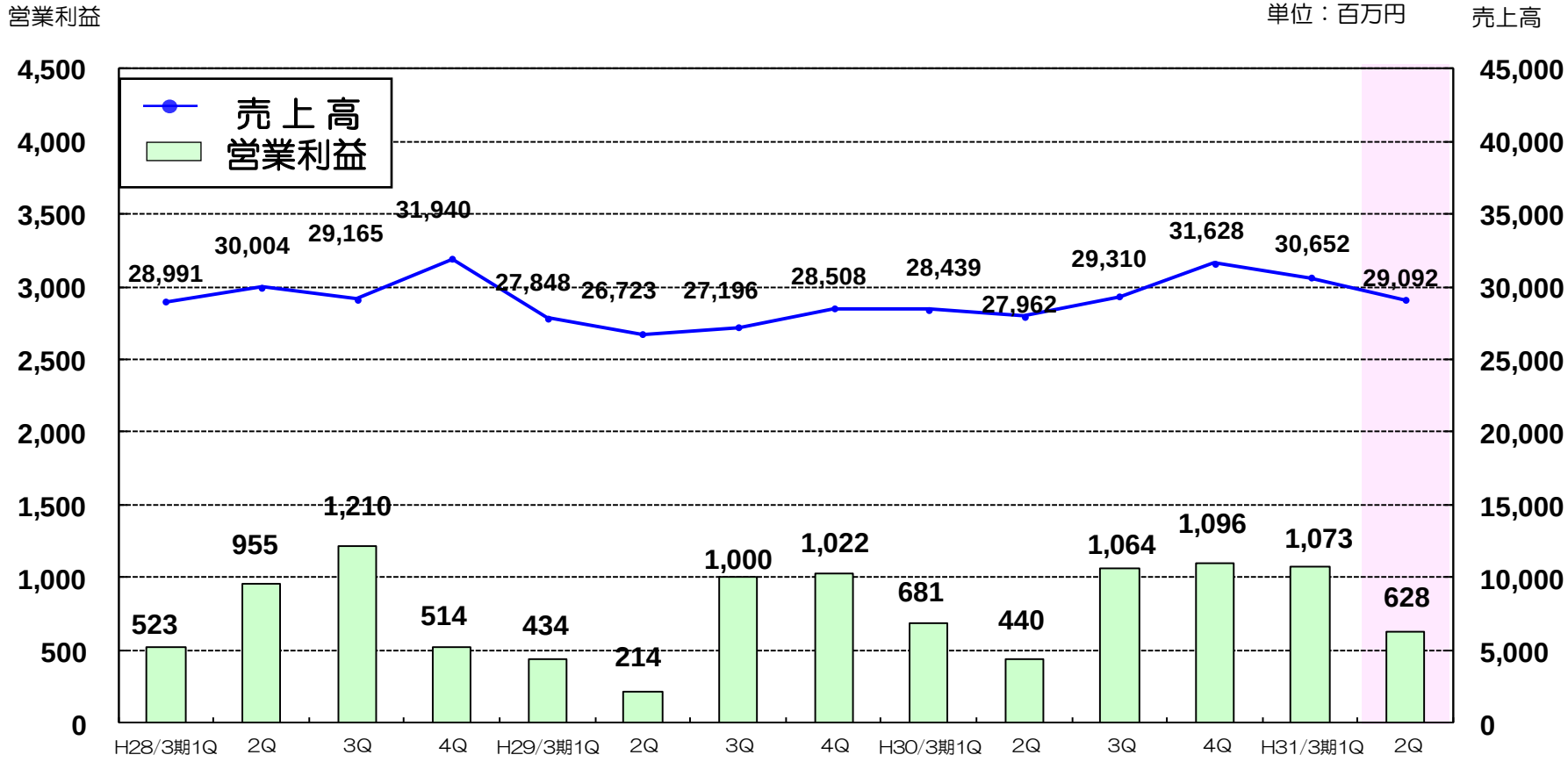
経常利益の増加により増益となりました



本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

四半期業績の推移

■連結売上高・営業利益の推移



POINT

中国での生産減少および国内での西日本豪雨の影響もあり1Q比で減収減益となりました

本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

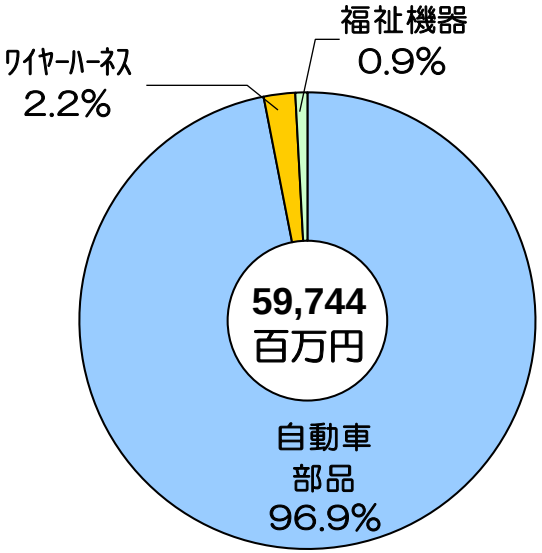
事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

百万円		自動車部品関連事業	ﾜｲﾔｰﾊｰﾈｽ関連事業	福祉機器関連事業	連結
外部売上高	H30/9期	57,902	1,333	508	59,744
	H29/9期	54,763	1,108	530	56,401
	増減額	3,139	225	▲ 22	3,343
営業利益	H30/9期	1,746	▲ 31	▲ 19	1,701
	H29/9期	1,277	▲ 159	▲ 3	1,121
	増減額	469	128	▲ 16	580

POINT

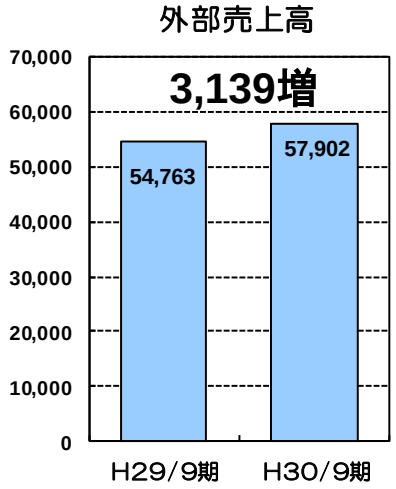
主要事業の自動車部品関連事業において中国やタイでの生産増加などにより、増収増益となりました

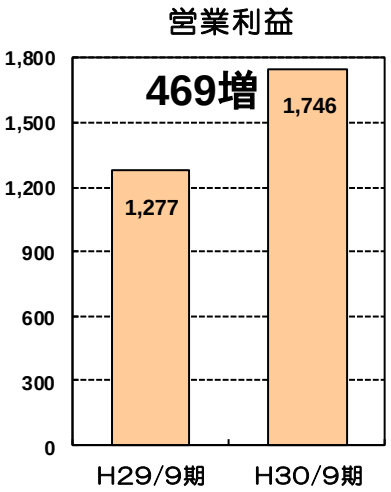
事業の種類別 売上高構成



■自動車部品関連事業

百万円





本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.

■得意先系列別　売上高構成

百万円	前期	構成比	当期	構成比	増　減 額	増　減 率
本田技研工業㈱	19,165	35.0%	**22,466**	**38.8%**	**3,301**	**17.2%**
日産自動車㈱	11,334	20.7%	**11,539**	**19.9%**	**205**	**1.8%**
㈱SUBARU	7,949	14.5%	**7,305**	**12.6%**	**▲ 644**	**▲ 8.1%**
三菱自動車工業㈱	5,566	10.2%	**5,943**	**10.3%**	**377**	**6.8%**
マツダ㈱	3,422	6.2%	**4,008**	**6.9%**	**586**	**17.1%**
いすゞ自動車㈱	1,731	3.2%	**1,339**	**2.3%**	**▲ 392**	**▲ 22.6%**
スズキ㈱	1,572	2.9%	**1,300**	**2.2%**	**▲ 272**	**▲ 17.3%**
ダイハツ工業㈱	347	0.6%	**346**	**0.6%**	**▲ 1**	**▲ 0.3%**
トヨタ自動車㈱	299	0.5%	**305**	**0.5%**	**6**	**2.0%**
日野自動車㈱	173	0.3%	**188**	**0.3%**	**15**	**8.7%**
ヤマハ発動機㈱	49	0.1%	**48**	**0.1%**	**▲ 1**	**▲ 2.0%**
その他	3,156	5.8%	**3,115**	**5.5%**	**▲ 41**	**▲ 1.3%**
計	54,763	100.0%	**57,902**	**100.0%**	**3,139**	**5.7%**

POINT

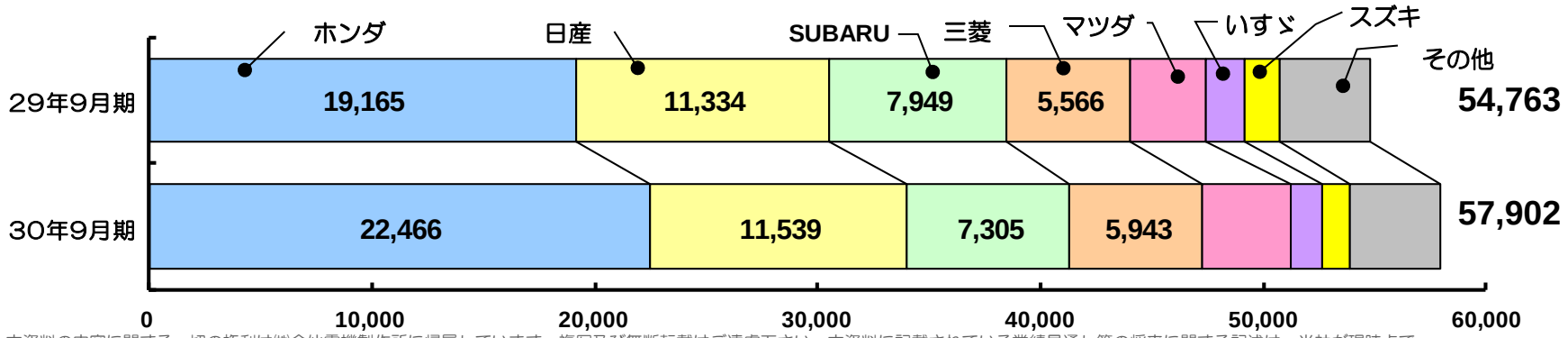
■ホンダ系列向け
・アジア、国内における生産増加

■SUBARU系列向け
・国内における生産減少

■三菱系列向け
・国内、アジアにおける生産増加

■マツダ系列向け
・国内における生産増加

■いすゞ系列向け
・アジアにおける生産減少



本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.

■機種別　売上高構成

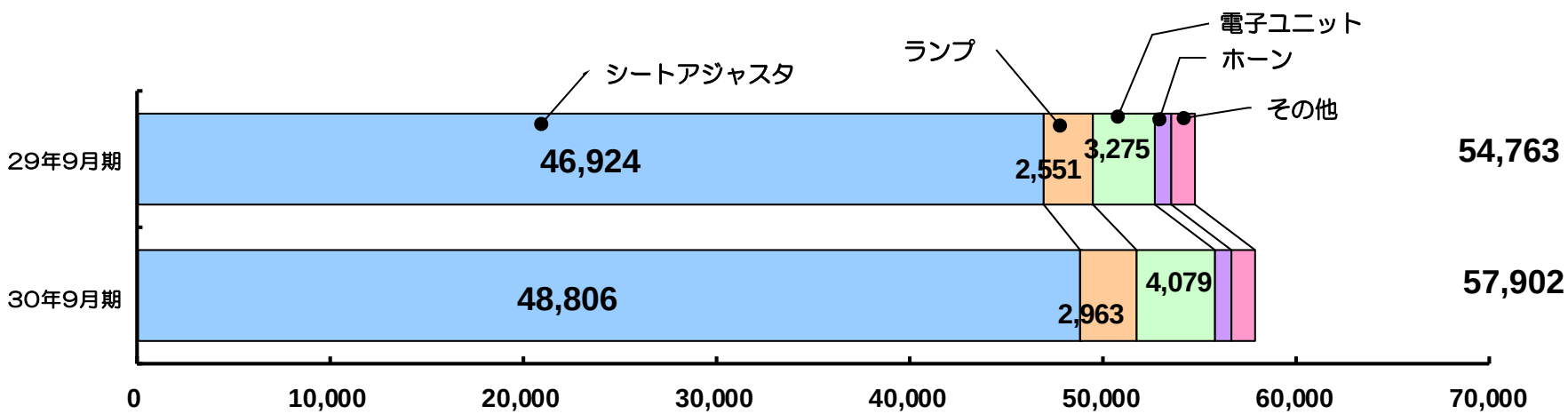
百万円	前期	構成比	当期	構成比	増減 額	増減 率
(1)機構部品	46,924	85.7%	**48,806**	**84.3%**	**1,882**	**4.0%**
シートアジャスタ	46,924	85.7%	**48,806**	**84.3%**	**1,882**	**4.0%**
(2)電装部品	6,592	12.1%	**7,915**	**13.6%**	**1,323**	**20.1%**
ランプ	2,551	4.7%	**2,963**	**5.1%**	**412**	**16.2%**
電子ユニット	3,275	6.0%	**4,079**	**7.0%**	**804**	**24.5%**
ホーン	766	1.4%	**873**	**1.5%**	**107**	**14.0%**
(3)その他	1,247	2.2%	**1,181**	**2.1%**	**▲ 66**	**▲ 5.3%**
合　　計	54,763	100.0%	**57,902**	**100.0%**	**3,139**	**5.7%**

POINT

■主力製品であるシートアジャスタは中国、タイでの増産により増加しました

■ランプは国内での生産が増加しました

■電子ユニットは国内、中国での生産が増加しました



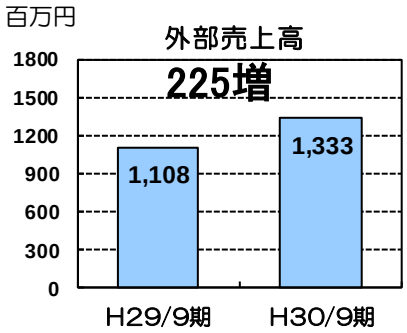
本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

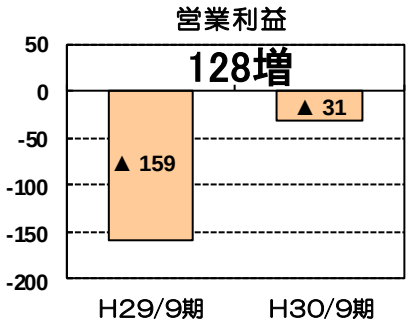
事業の種類別セグメント：その他の事業

■ワイヤーハーネス関連事業

POINT

航空機関連、工作機械関連のいずれも受注増加により増収・利益回復しております

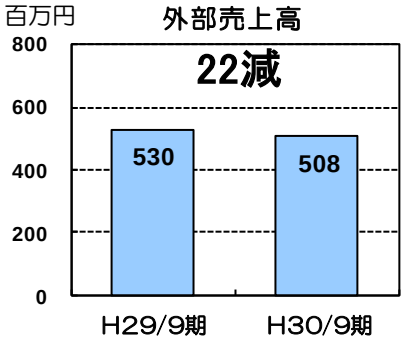


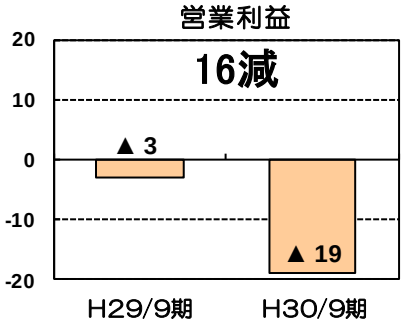


■福祉機器関連事業

POINT

電動車いすの販売台数減少により減収減益となりました





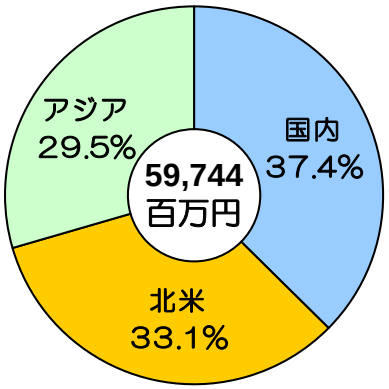
本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

所在地別セグメント・海外売上高

■所在地別売上高構成

百万円		国内	北米	アジア	連結
外部売上高	H30/9期	22,334	19,773	17,637	59,744
	H29/9期	21,573	20,212	14,616	56,401
	増減額	761	▲ 439	3,021	3,343
営業利益	H30/9期	373	10	1,276	1,701
	H29/9期	173	▲ 383	1,322	1,121
	増減額	200	393	▲ 46	580

所在地別 外部売上高

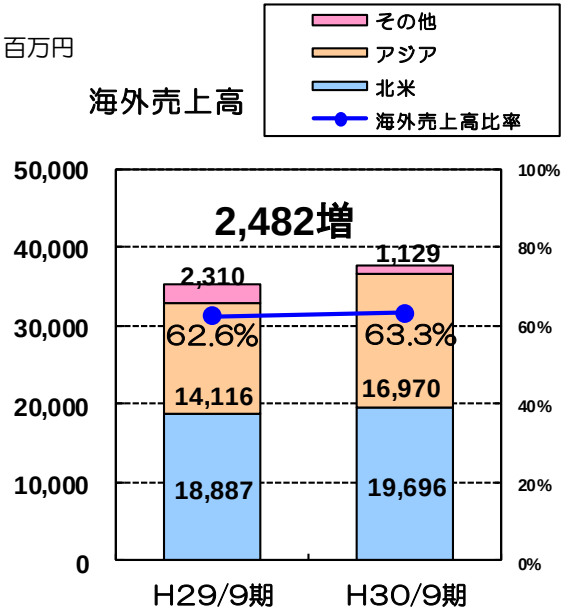


■国別売上高

百万円	国内	北米	アジア	その他	連結
H30/9期	21,947	19,696	16,970	1,129	59,744
H29/9期	21,086	18,887	14,116	2,310	56,401
増減額	861	809	2,854	▲1,181	3,343

※国別売上高とは顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています

海外売上高



POINT

所在地別売上高はアジア、国内における生産増加により増収。国内は増収効果、北米における固定費の抑制、為替影響などにより増益となりました

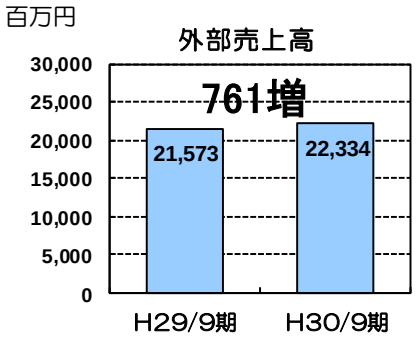
本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

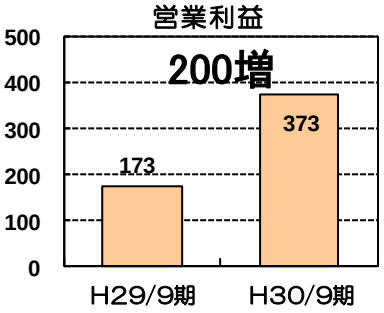
所在地別セグメント

■国内

POINT

三菱、マツダ、ホンダ向けの生産増加や為替影響などにより増収増益となりました

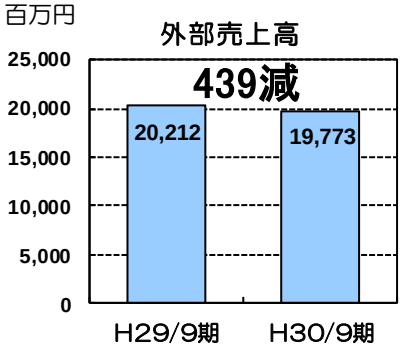


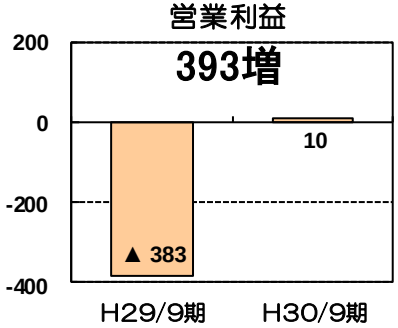


■北米

POINT

固定費の抑制や為替影響などにより増益となりました

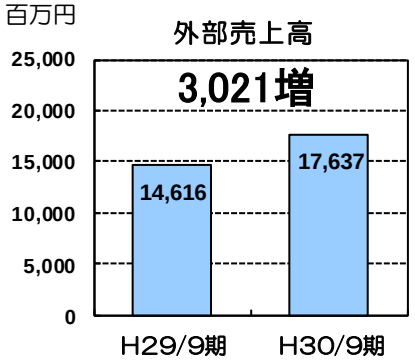


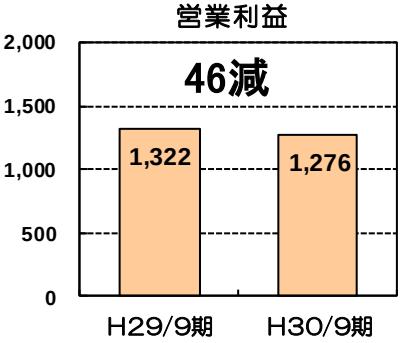


■アジア

POINT

中国、タイにおける生産増加により増収となったものの、その他の拠点の生産減少により減益となりました





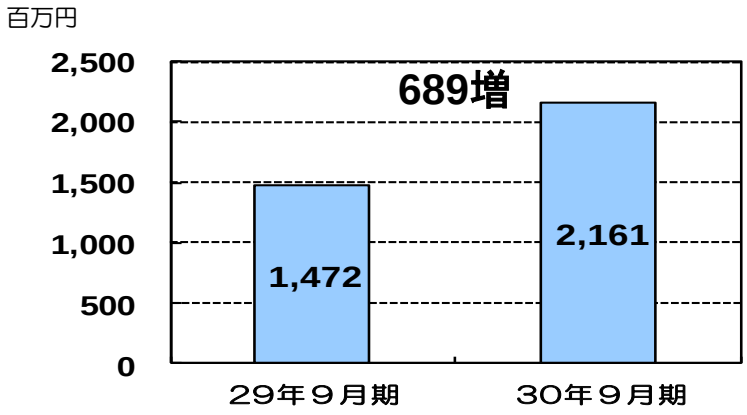
本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

設備投資・減価償却費

■設備投資

POINT

国内、北米における新規立上りと生産増加により増加しております

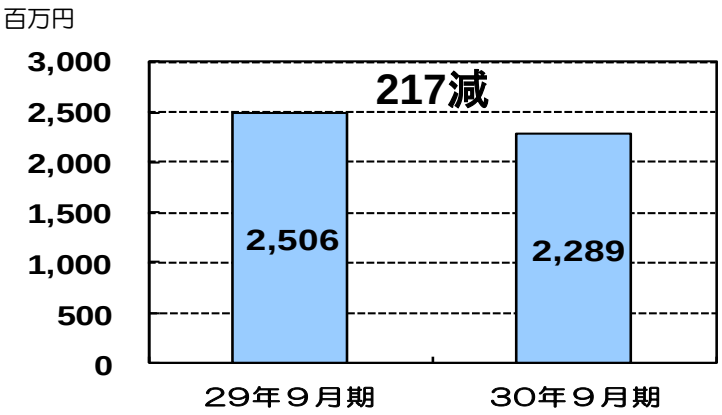


	29年９月期（実績）	30年９月期（実績）	前期比増減
国内	962	**1,373**	411
北米	145	**364**	219
メキシコ	49	**6**	▲ 43
中国	147	**167**	20
タイ	16	**186**	170
フィリピン	11	**43**	32
台湾	7	**7**	0
インド	131	**10**	▲ 121
インドネシア	0	**0**	0
合計	1,472	**2,161**	689

■減価償却費

POINT

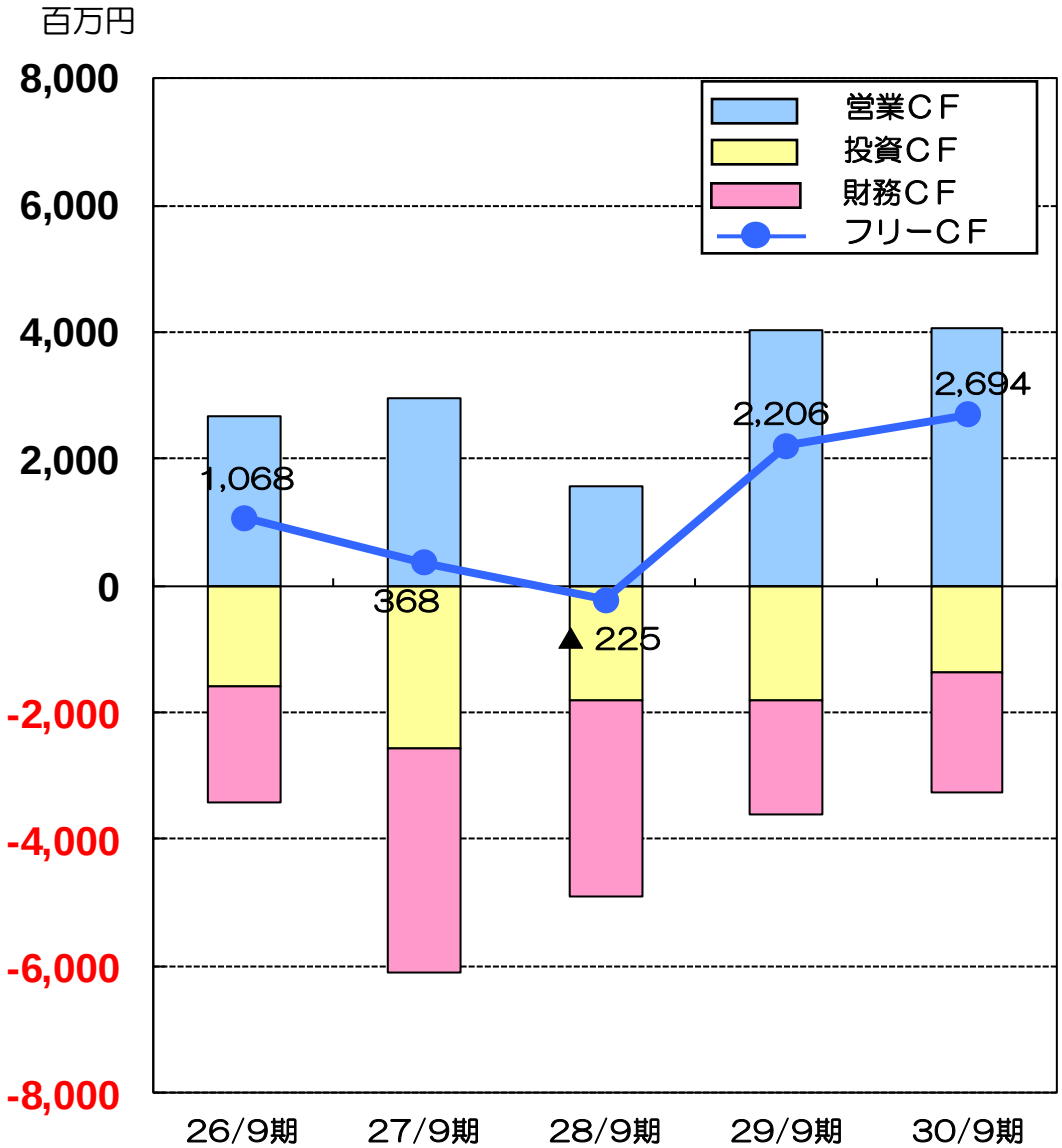
北米における減価償却費は減少しております



	29年９月期（実績）	30年９月期（実績）	前期比増減
日本	1,200	**1,236**	36
北米	694	**444**	▲ 250
メキシコ	62	**67**	5
中国	253	**252**	▲ 1
タイ	213	**212**	▲ 1
フィリピン	34	**26**	▲ 8
台湾	17	**19**	2
インド	23	**24**	1
インドネシア	5	**5**	0
合計	2,506	**2,289**	▲ 217

本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

キャッシュ・フロー



POINT

■投資CFは有形固定資産の取得に対する支払いが増加しました

■フリーCFは2,694百万円となりました

本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

Ⅱ. 平成３１年3月期　業績見通し概要

※期初予想より変更しておりません

本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

31/3期　業績予想

百万円	前期実績（H30年３月期）	当期予想（H31年３月期）	増減額	増減率
売上高	117,339	118,000	661	0.6%
営業利益	3,281	4,200	919	28.0%
経常利益	3,400	3,900	500	14.7%
当期純利益	2,878	2,700	▲178	▲6.2%
１株当たり純利益	139.21円	129.85円	▲9.36円	▲6.7%

POINT

国内および中国の生産増加により、増収増益を予想しております

ご参考

USD	31/3期	107.00円	30/3期	112.16円	5.16円の円高
CNY	31/3期	17.09円	30/3期	16.62円	0.47円の円安
THB	31/3期	3.43円	30/3期	3.31円	0.12円の円高

本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

Ⅲ. 今後の経営方針

１．Dream2020　フェーズ３　重点展開方針

本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.

②フェーズ3　重点展開方針

Dream 2020

3年単位の中期ステップにて展開

【フェーズ1】
2014年度実績
連結売上高　1,119億円
営業利益率　2.9%

【フェーズ2】
2017年度実績
営業利益率　2.8%

【フェーズ3】
2020年度目標
営業利益率　6.0%

シートアジャスタ
世界トップ
環境・安全
新製品
非自動車

フェーズ1（2012～2014 年度）

- ①研究開発の強化
- ②人材育成とグローバル活用
- ③グローバルでの事業拡大
- ④国内事業の再編
- ⑤非自動車領域の事業開発
- ⑥グローバルマネジメント確立

フェーズ2（2015～2017 年度）

- ①技術革新
- ②国内事業の再構築
- ③グローバル拠点最適化
- ④人材育成

フェーズ3（2018～2020 年度）

①技術革新
今仙グループの総力を結集させイノベーションを推進する【技術、造り、品質、管理】

②国内事業の再構築
今後拡大が見込めない国内市場において事業、生産拠点をあるべき姿に再構築する【新規事業、生産拠点再編】

③グローバル拠点最適化
グローバル拠点の競争力およびネットワークの強化を推進する

④人材育成
グローバルでの人材育成を加速させ強化する

⑤事業の選択と集中
リソースの適正配分により事業全体での収益体質強化を図る

- フェーズ2目標未達に鑑み、フェーズ2の重点展開方針は継続実施
- 収益体質改善に向けて事業の選択と集中を図る

本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

Dream2020 フェーズ３　重点展開方針の取り組み

IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.

■フェーズ３の取り組み

＜フェーズ３ 重点展開方針＞	＜取り組み＞
技術革新	・保有技術を集結し、電子分野で新製品を開発 ・世界TOP品質の設計・加工技術を構築
国内事業の再構築	・国内事業の縮小に対応するよう国内拠点を統廃合する
グローバル拠点の最適化	・工程系列を見直しグローバルでの最適供給方法を確立する
人材育成	・グローバルに活躍できる人材、ローカルスタッフを育成する
事業の選択と集中	・事業拡大に向けて経営リソースの投下を拡充する

・5つの重点展開を徹底し、研究開発の強化と収益改善を図る

本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

Dream2020 フェーズ３　重点展開方針の取り組み

IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.

技術革新

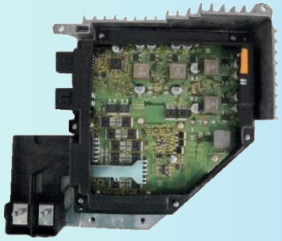
■電子製品の搭載状況

＜統合ユニット＞

- ストップランプ制御
- リアワイパー制御
- ドアロック制御
- バーグラアラーム制御
- ルームランプ制御

ボディコントロール
モジュール：BCM

DCDCコンバータ



従来搭載製品

＜ボディ制御製品＞

BCMの多機能化

＜省エネ関連製品＞

DCDCコンバータの
高効率化

バッテリーバックアップ
システムの新規受注

今後の搭載製品

- 搭載車種増加および搭載製品の付加価値を高めたことにより売上伸長

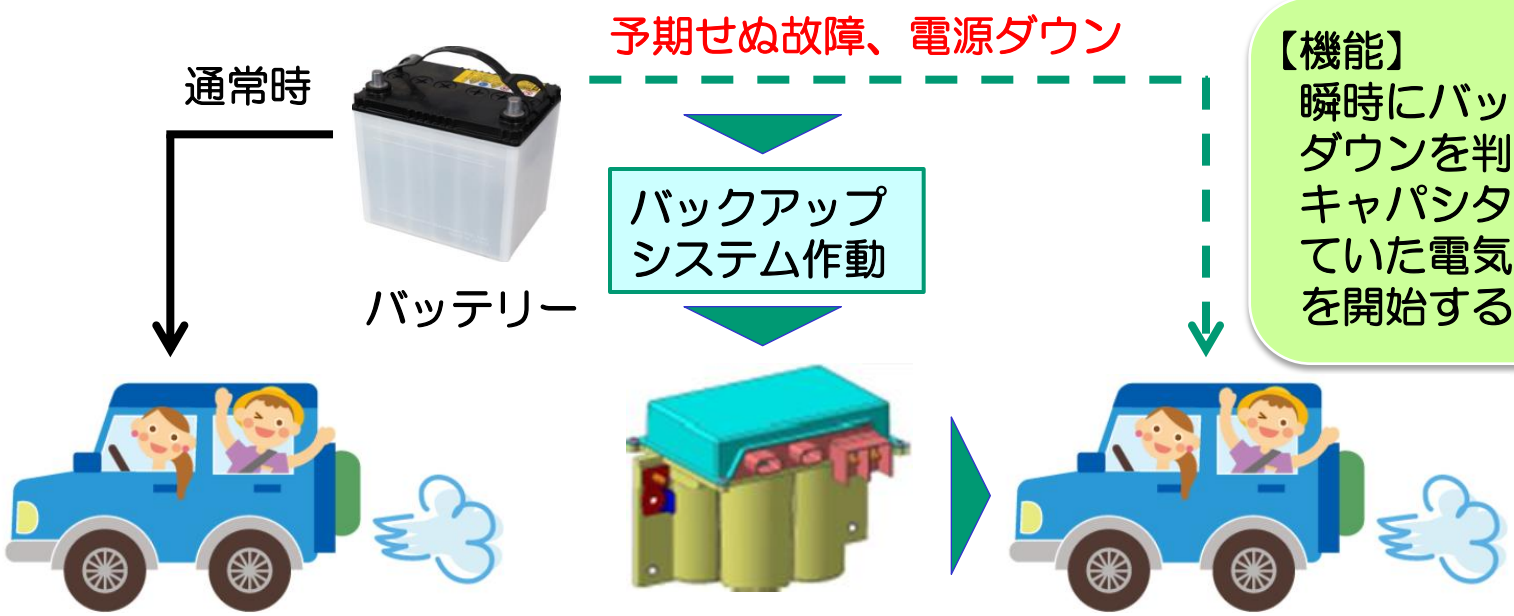
本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

Dream2020 フェーズ３　重点展開方針の取り組み

IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.

技術革新

開発製品の概要	バッテリーバックアップシステム	東京モーターショー2017 出展



新規受注
量産化

・新規受注、18年モデルに搭載

本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

Dream2020 フェーズ３　重点展開方針の取り組み

IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.

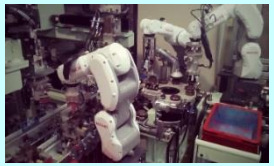
技術革新

新たな生産ラインの構築

シート事業

コア製品の生産自動化
シート組立ロボットで生産性向上と省人化を図る

シートレール検査機
カメラと画像処理よる品質確認

専用ラインから汎用ライン化


多品種生産に対応した
汎用ラインの構築

電子事業

電子製品の生産自動化

生産増に対応した
生産効率の向上

＜新生産ライン＞

- ロボットを使った
  オートメンション化
- 人手不足対策
  ⇒省人化ライン構築
- コスト改善を推進し
  競争力強化

・ロボット活用による自動化を図り品質と生産性向上を推進

本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

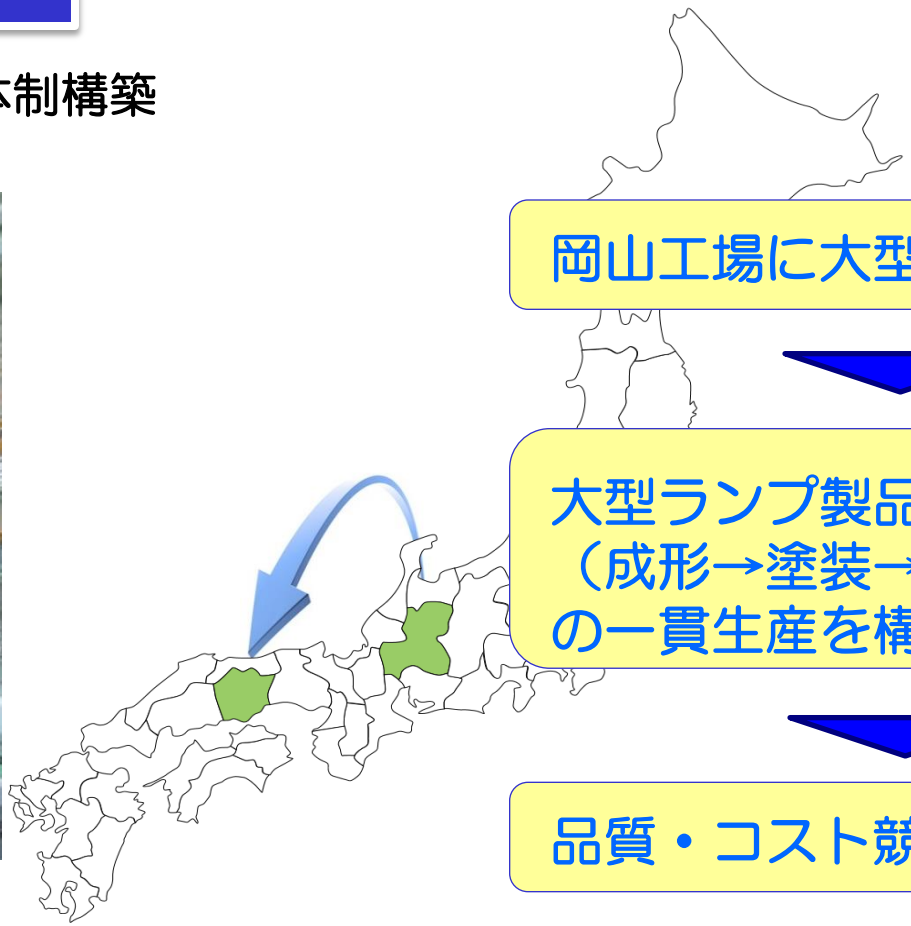
Dream2020 フェーズ３　重点展開方針の取り組み

IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.

国内事業の再構築

■ランプ製品の生産体制構築

1300ｔ成形機



岡山工場に大型成形機移管

↓

大型ランプ製品の全工程
（成形→塗装→組立→検査）
の一貫生産を構築

↓

品質・コスト競争力強化

・リアコンビネーションランプの一貫生産の体制を構築

本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

Dream2020 フェーズ３　重点展開方針の取り組み

IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.

グローバル拠点最適化

■WICO（武漢今仙）第二工場

狙い	取り組み	稼働開始	効果
コスト競争力強化	第二工場建設	2017年10月建屋完成	・得意先に近い拠点での一貫生産体制構築 ・外部倉庫削減による固定費削減
	プレス導入	2018年5月稼働開始	・プレス部品の内製化によるコスト競争力強化および輸送費削減

・中国地域において工程系列の見直しによりコスト競争力強化

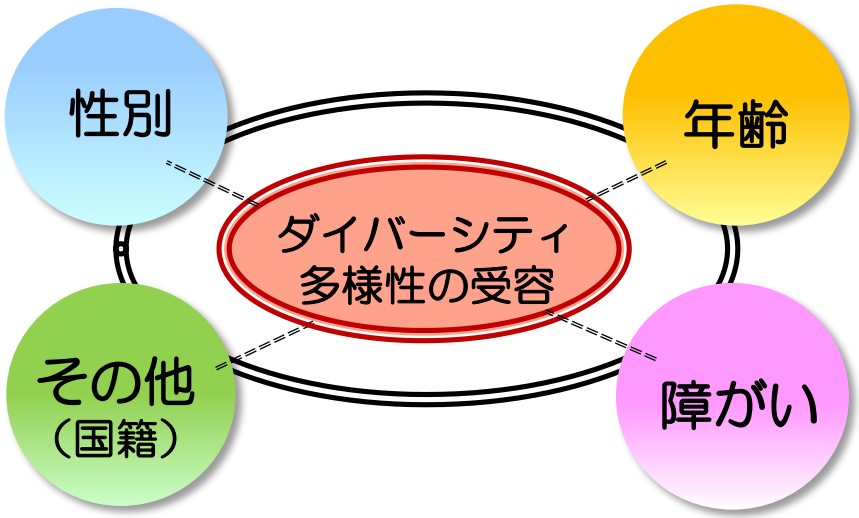
本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

Dream2020 フェーズ３　重点展開方針の取り組み

IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.

人材育成

＜ダイバーシティの取り組み＞



【女性活躍推進教育の実施】

- 女性社員のキャリアデザインの形成支援

女性を中心としたチームを発足　⇒　CSR活動を展開

- 女性幹部候補者の育成を推進

本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.

地域貢献イベント「健康学習フェア」

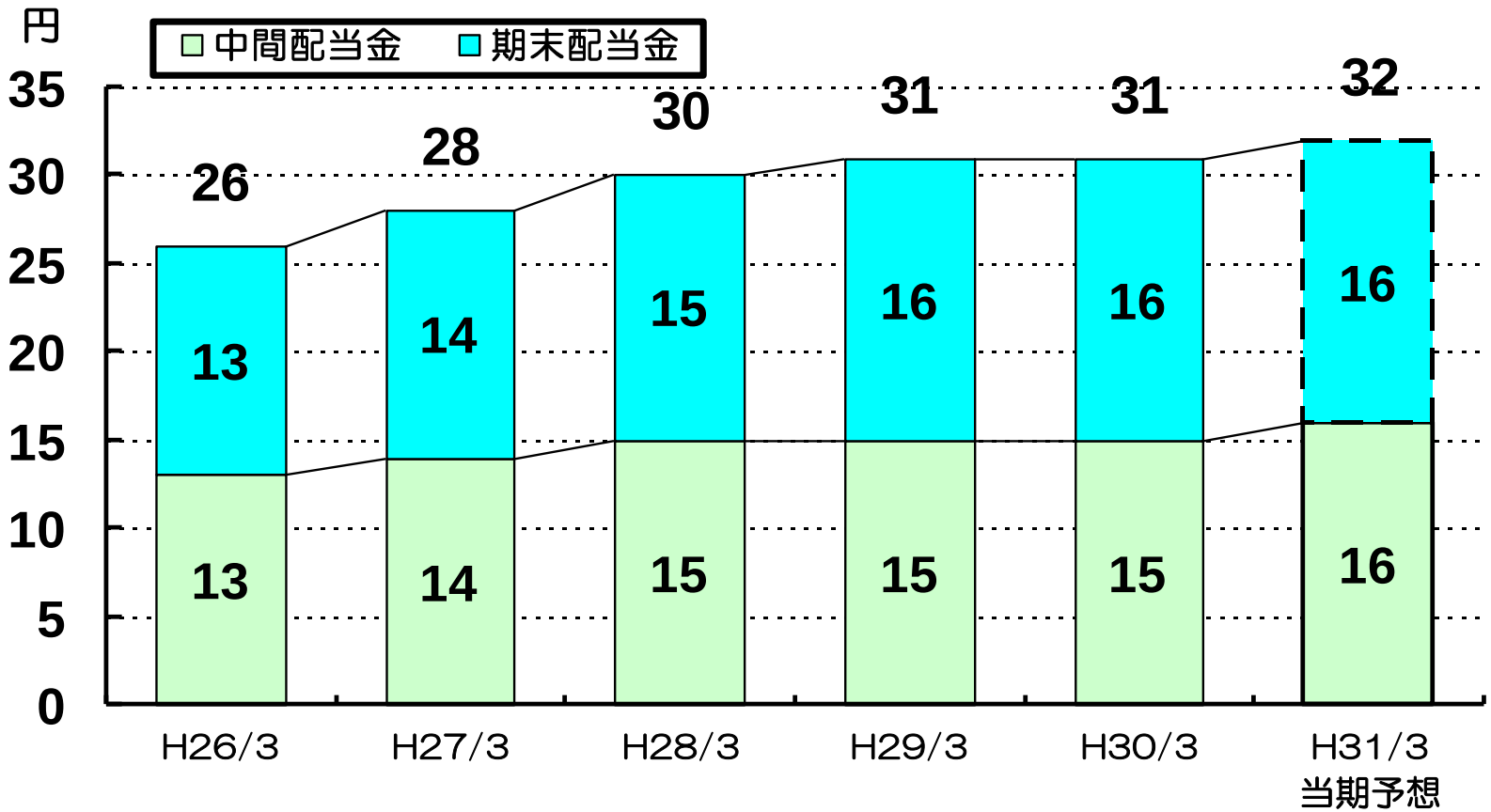
・当社の知識や技術を活かし、地域社会に貢献

本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

配当政策

POINT

前期より1円増配を予定しております



本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

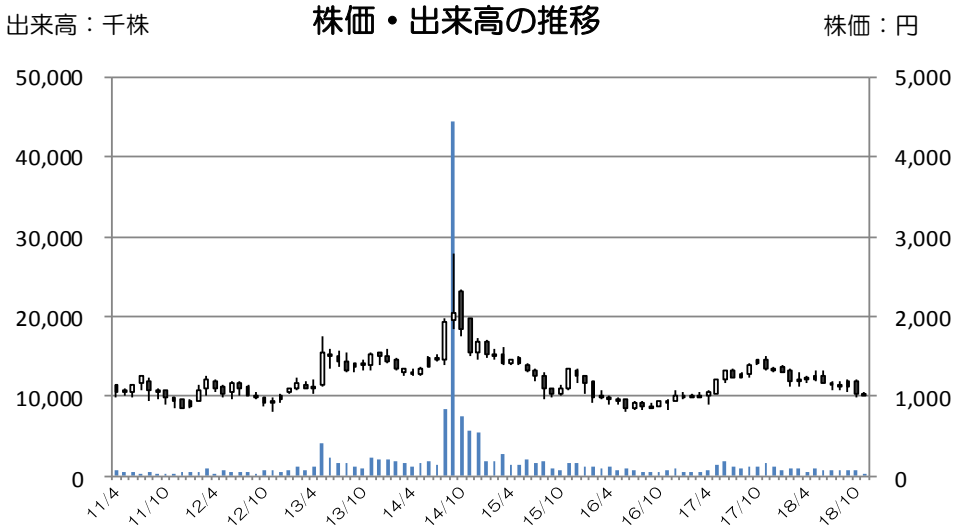
（ご参考）　IRインフォメーション

今後のスケジュール

2/8（金）　　平成31年3月期第３四半期決算発表予定

※そのほか、今仙グループの最新情報をWEBにて配信しております

http://www.imasen.co.jp



IRに関するお問い合わせ先

株式会社今仙電機製作所
グローバル経営事業部　経営企画課
IR担当
TEL 0568-67-1517
http://www.imasen.co.jp/ir.html

本資料の内容に関する一切の権利は㈱今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。